

科目名	日常生活活動学（作業療法）	担当教員	佐藤拓也 榮志津江 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------------	------	----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	2年次	後期	2単位	講義

科目概要	対象者の日常生活活動（ADL）を評価し、治療等を実践していくための基本的な知識・視点について学習する。評価方法としては、寝がえり、起き上がり等の基本動作や食事や更衣等の日常生活動作（セルフケア）の分析などの定性的な評価方法と、FIMやBI等の定量的な評価方法について学習する。また援助方法としては、福祉用具や自助具などの適応や使用方法についても学習し、対象者の日常生活を支援するための観察力、思考力、問題解決能力を養う。
学習目標	①日常生活活動（ADL）の評価方法、支援方法について理解する。 ②姿勢、基本動作、活動などの観察視点や分析方法を理解する。 ③自助具、車椅子を対象者に適切に導入するための視点を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	ADL の概念と範囲	ADL、IADL の概念と範囲について理解する。	
2	評価	ADL の評価	ADL 評価の目的・方法、ADL 遂行に影響する要素について理解する。	
3	治療・援助	ADL の治療・援助	ADL 治療・援助の視点、方法について理解する。	
4	姿勢、動作分析	姿勢分析、基本動作分析の目的と方法	姿勢分析、基本動作分析の目的、分析の視点、結果の記録法について理解する。	
5	姿勢分析	基本姿勢の分析	基本的な各体位の分析を通じて、それぞれの特性について理解する。	
6	基本動作の分析	寝返り動作の分析	寝返りの分析を通じて、動作に必要な要素を理解する。	
7	基本動作の分析	起き上がり動作の分析	起き上がりの分析を通じて、動作に必要な要素を理解する。	
8	姿勢、動作分析	立ち上がり動作の分析	立ち上がりの分析を通じて、動作に必要な要素を理解する。	
9	活動分析	活動分析の目的、考え方	活動分析の目的、考え方を理解する。	
10	活動分析	食事動作の活動分析	基本的な食事動作の分析を通じて、活動に必要な要素を理解する。	
11	活動分析	整容動作、更衣動作の活動分析	基本的な整容動作、更衣動作の分析を通じて、活動に必要な要素を理解する。	
12	活動分析	排泄動作、入浴動作の活動分析	基本的な排泄動作、入浴動作の分析を通じて、活動に必要な要素を理解する。	
13	評価様式	ADL の代表的な評価洋式について	FIM および Barthel Index の概要、採点方法について理解する。	
14	福祉用具 自助具	福祉用具の範囲について 自助具の目的、選定、製作の留意点など	福祉用具の範囲について理解する。 自助具導入の視点や製作時の留意点について理解する。	
15	補装具	車椅子の適合・選定について	車椅子の基本的な寸法、対象者の能力や用途に応じた各部品の選定について理解する。	

評価方法	筆記試験(90%)、課題(10%)
教科図書	なし
参考図書	齋藤宏、矢谷令子、丸山仁司・著『姿勢と動作 第3版』メヂカルフレンド社、2010年 伊藤利之・著『ADLとその周辺 第3版』医学書院、2015年 日本作業療法士協会・監修『作業療法学全書 改訂第3版 日常生活活動』協同医書出版社、2009年 など
学習の準備	作業療法評価学・演習、運動学・演習の内容を復習しておくこと
オフィスアワー	講義1回目のガイダンスで説明する。
担当教員欄に※印を 附した教員の 実務経験	